環境モデル都市 円卓会議 メモ帳

部会名	ゼロウェイスト円卓会議	記入者	西村雄一
開催日時	平成21年5月25日(水)19:00~	場所	公民館
出席者	<p>■宮北 ■藤本延 ■廣田 ■小里</p> <p>■ごみ女連(永野) ■エコネット(山下) ■リサイクル推進委員会(桑畑)</p> <p>□市議会議員() □教育旅行プランニング() ■熊本学園大学(西村)</p> <p>■お茶生産者(松本)</p> <p>■環境対策課(久木田) ■環境クリーンセンター(有村、福田) ■商工観光推進室(光田)</p>		
<p>会議メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 諸連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行役…委員の中から選ぶ ・ 世話人…推進委員から2人(当面、宮北、藤本が担当) <ul style="list-style-type: none"> コアメンバーから1人(山下:会議メモ、出席確認) 市役所(クリーンセンター職員) ・ 事務局…クリーンセンター(議事録作成) ● 各メンバーから自己紹介 ● 議題(テーマ)の確認 <ol style="list-style-type: none"> 1 ごみ減量・リサイクルの推進:新たな分別の実施、分別の徹底運動、ごみステーション調査 2 リサイクルからリユースへ:「給茶スポット」、レジ袋削減/マイバッグ運動の推進 3 水俣らしい「ゼロウェイスト宣言の実現」の確立:ビジョンの明確化と他都市との連携 4 だれにでもわかる「廃棄物会計」の確率:分かりやすい情報発信と「コスト意識」の醸成 ● メンバーの構成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記①~④のテーマで議論していく上で、本当に必要な人たちがこれでいいのかどうか、又はいろいろ事業を進めていく上で必要な人たちはいないか、決してこれが固定したメンバーではなく、いろいろ形で必要な人に入ってもらう。 ・ ある程度この円卓会議の方向性が見えてきた時点で、一般公募という形で市の広報に載せ、関心のある市民と一緒に考えていきたい。又は、行動したいという市民が入れるような仕組みを作る。 ● これからのゼロウェイスト円卓会議(何を議論していくか・どんな姿を目指して活動していくか) <ul style="list-style-type: none"> ・ まずこれまでやってきたことをきちんと検証する。 ・ ゼロウェイスト円卓会議の課題は①から④まで決まっているが、これを全般的にやっている 			

といつまでも解決に進まないと思われるため、まずは具体的な活動から見ていく。

- ・ 今までゼロウェイスト円卓会議で具体的に活動してきたことを整理し、これからの活動の見通しを立てる。メンバーそれぞれの活動の中から課題や成果を明確にし、それを基に話を進めていく。
- ・ 各メンバーが持っている具体的なフィールドでどんな問題点・課題・成果があるかの整理。
- ・ 新しく何かを始めるといよりも、これまでメンバーそれぞれがやってきたことをお互いまず共有し合い、それを次のステップにどうレベルアップしていくかということが、まず基本になる。
- ・ おそらく他の円卓会議と共通する課題が多くあるため、他の部会と広く情報を共有していくと、部会同士で相互に協力して活動していける。
- ・ 今回欠席のメンバーも含めて、さらにもう少し輪を広げて、お互いにまず情報を共有し、何ができるかということ具体的に話し合っ、成果の上がる方向に繋げる。

● 会議の日時・場所

月曜日。どのくらいの頻度でやるかは随時決めていく。場所は基本的にはクリーンセンターだが、お互いの活動を知るためにもメンバーの拠点となっている場を借りる。

● 次回の会議日時・場所

6月22日(月)、18時半～、クリーンセンターにて。